

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	もみじ湖ライトアップ 魅力再発見事業
事業主体 (連絡先)	箕輪町 産業振興課商工観光推進室 0265-79-3111 内線 171 担当 小田切正憲
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,987,568 円 (うち支援金: 2,826,000 円)

### 事業内容

約1万本の「もみじ」が植えられているもみじ湖(箕輪ダム)において、ライトアップの常設的な設備の設置を基軸として、新聞等による広告、ライトアップイベントの開催を実施。その際、地域住民とともに「もみじ湖」の観光・おもてなしイベントを考え、町の観光拠点として整備することで、魅力発信や集客拡大(特に町外)、地域経済の活性化と町民の地域愛醸成(町内)を図り、町内外両面から愛される「もみじのブランド化」推進の加速を目的とする。



【もみじのトンネルのライトアップ】

### 【目標・ねらい】

目標目標：ライトアップ期間中  
17時以降の集客数 2,000人  
ねらい…町内外から愛される「もみじのブランド化」

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ライトアップ会場(末広広場入り口)にデジタルカウンター設置し、ライトアップ期間中の集客数をカウントした。期間中の集客数 2,824(H28は850人)に対し、昼夜を通した期間中の集客数は11,217人であった。

従来の昼のもみじ観光に加え、夜のもみじ観光のメニューを創設することで主客の増加を図ることができ、「箕輪町=もみじ」のイメージを更に広め、ブランド化を加速させ、イベントへの注目を集めることで、箕輪町自体の知名度の向上につなげた。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

ライトアップ会場へ目標に届く、観光客が訪れ、箕輪町の「もみじのブランド化」の下地となった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成30年度以降は、関係する町内業者や上伊那地域の他の紅葉スポット(高遠地域や駒ヶ根地域など)と連携した周遊ルートの形成に向け検討し、観光客の滞在時間を延ばす仕組みづくりへつなげたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある